

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
精神健康障害支援論	2年次 後期	必修	講義	1単位（30時間）	田辺 要補 ※
授 業 概 要					
この科目では、精神疾患・障害を抱えながら生活する対象の看護・支援方法について学ぶ。 具体的には、主な精神疾患・症状に対する看護、地域における生活支援の方法と当事者・支援者の連携・協働の方法を学習する。					
到 達 目 標					
1. 主な精神疾患・障害に対する看護方法を述べることができる。 2. 精神科病棟入院患者の人権擁護と安全に配慮した環境調整法を理解することができる。 3. 地域生活支援及び就労支援の要点を述べることができる。 4. 地域生活支援で多用される社会資源を述べることができる。 5. 生活の場の移行時のケア・支援を理解することができる。 6. 当事者・支援者の連携・協働方法の要点を述べることができる。					
実務経験のある教員					
田辺 要補：精神科病棟での実務経験をふまえて精神看護の基礎知識を教授する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-8	1. 主な精神疾患・障害に対する看護 1) 統合失調症 ①病期（急性期・回復期・慢性期）に応じた看護の特性 ②作業療法と対象の日常生活支援 2) 気分障害 3) アディクション（依存） 4) 認知症 5) 精神科病棟入院時の看護（日常生活援助・療養環境の整備） 事故防止・安全管理と倫理的配慮、包括的暴力防止プログラム（CVPPP） 6) セルフケア・セルフマネジメント及び家族支援				田辺 要補 ※
9-12	2. 地域における生活支援の方法、当事者・支援者の連携・協働 1) 病期（急性期・回復期・慢性期）に応じた地域生活支援の実際 2) 地域生活支援で利用される社会資源 3) 生活の場が移行する際のケア・支援 －医療施設から地域へ、地域から医療施設へ 4) 地域で働く・働き続けるための支援－就労への準備・移行・継続支援 5) 地域生活の再構築と生活支援の実際				
13	①精神障害者の病いの体験と現実の問題、生きにくさ				
14	②当事者の体験より				
15	－アルコール依存症回復のための自助グループ・ピアサポートの実際 ③支援者の実際の活動より －NPO法人による複合的支援・多職種連携を通して				
学 習 方 法					
講義、グループワーク、レポート					
評 価 方 法					
科目修了試験					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学① 武井 麻子 著 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学② 武井 麻子 著 医学書院					